



国際会長 (IP) Ulrik Lauridsen (Denmark)

“Let Your Light Shine”

「輝かそう、あなたの光を」

アジア太平洋地域会長 (AP) Chen Ming Chen (Taiwan)

“Elegantly Change with New Era”

「新しい時代とともに、エレガントに変化を」

東日本区理事 (RD) 佐藤 重良 (甲府21)

“Let's act now for the future”

「未来に向けて今すぐ行動しよう」

湘南・沖縄部部长 (DG) 小松 仲史 (厚木)

「楽しく・元気よく・前向きに」 副題：入りたくなるワイズにしよう

横浜クラブ会長 (CP) 古賀 健一郎

「他者と共に生きる ～ 平和を求めて」

“Live together in harmony ～ for Peace”

会長 古賀 健一郎
副会長 古田 和彦
書記 古賀 健一郎
会計 大高 治
直前会長 古田 和彦

監事 松島 美一
ブリテン 伊藤 誠彦
担当主事 青木 英幸

<今月の聖句>

古田 和彦

一緒に食事の席に着いたとき、イエスはパンを取り、賛美の祈りを唱え、パンを裂いてお渡しになった。すると、二人の目が開け、イエスだと分かったが、その姿は見えなくなった。二人は、「道で話しておられるとき、また聖書を説明して下さったとき、わたしたちの心は燃えていたではないか」と語り合った。

(ルカによる福音書 24 : 30-32)

今月の一言

「ありがとう」という言葉の由来

青木 英幸



日常的に使う言葉の「ありがとう」。美しい日本語の一つとも言われるこの言葉の由来は諸説あり、「ポルトガル語」にあるとする説があります。

ポルトガル語で「ありがとう」を意味するのは、男性語なら「オブリガード

(Obrigado)」、女性語なら「オブリガーダ (Obrigada)」です。特にオブリガードは「ありがとう」と少し似たような

発音をしています。そのため、ポルトガル語から「ありがとう」は生まれたという説となっています。

戦国時代の日本には、キリスト教の布教や貿易を目的としてヨーロッパの国々が日本にやってきました。ポルトガルもその中の一国でしたが、特に日本と関係性が深い国です。種子島に来て鉄砲を伝来させたのもポルトガルの商人ですし、南蛮貿易の南蛮はポルトガルとスペインを指すほど来訪頻度が高い国でした。

ポルトガル語を由来とする説は、あくまでも音が似ているというだけで間違いとされていますがその一方で、ポルトガル人が訪れるようになる以前の日本では、「ありがとう」はあまり使われていなかったとも言われています。それまでの日本では感謝を伝える言葉として「かたじけない」を使うのが一般的だったとされています。

日本が他国との交流の中で、新しい文化や言葉を取り入れ、それが現在に繋がっているという素敵な流れを私は信じたいと思います。

<2023年3月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F	
12名	メ 6名 メネット 0名 コメント 0名 ビジター 0名 ゲスト 0名 合計 6名	58 % (メーキャップ 1名を含む)	今月分 切手 0g 現金 0円	
		前月修正 出席率 %	年度累計 切手 0g 現金 0円	

<4月の行事予定>

EF/JEF

日	曜	時間	行事内容	場所
3	月	16:00	中央Yキックオフ	中央Y
13	木	18:30	横浜クラブ第一例会	中央Y
27	木	17:00	横浜クラブ第二例会	Zoom

「横浜 YMCA 学院専門学校 日本語学科

2022年度 後期卒業・修了式」報告

古賀 健一郎

修了式は、3月16日(木)10時から、横浜中央YMCAのチャペルで開かれた。(YouTubeライブ配信も併用)

① 黙祷をもって会が始まり、横浜YMCAスタッフの山下忠司さんの司会のもと、2022年度横浜YMCA基本聖句が読まれた。「恵みの業をもたらす種を蒔け 愛の実りを刈り入れよ。新しい土地を耕せ。」(ホセア書10章12節)

② 青木英幸校長からの激励のメッセージ。

「コロナ禍にあって、オンライン授業、対面授業などいろいろな方法で勉強してきました。それぞれの学びの中で、皆さんの日本語の語学力は、入学した時と比べ向上できたと信じております。ここで学んだ仲間たち、先生たち、YMCAで出会った多くの関係者の方々とのつながり大切にしながら、今後も過ごして行って下さい。よろしく願います」と言葉と祈りをもって卒業生へのはなむけとした。

③ 横浜ワイズメンズクラブ古賀会長のメッセージ。

「日本語学科、ご卒業・ご修了おめでとうございます。コロナ禍、さらには平和が脅かされている厳しい現実において、皆様は、日本語学科での学びを通して、国籍や民族などの異なる人々との交流を通して、互いの仲間が共に支えあい、友情をさらに深めてこられたと思います。皆様にとって、こうした喜びと楽しさをもった学びは、貴重な経験であり大きな財産です。私は日本人というより『地球市民』です。みんなで手を取りあって、平和を創り出す私たちでありたいと思います。さあ、皆様、これからは自分の『夢』に、また、新しい目標に向かって、大いに頑張ってください。私たちみんなが、心から応援しております。」

④ 日本語学科の入江香寿美さんより29名の卒業生が紹介された。そして、YMCAが運営するYMCAパヤオセンターからのパヤオクラフト(ペンケース)が卒業生に贈られ、「卒業後も、このペンケースを使って、(友達、先生や関係者との交流を含め)YMCAでの生活のことを思い出してほしい」と言葉を添えられた。

(備考)パヤオクラフト(PHAYAO CRAFT)とはタイ王国北部にあるYMCAパヤオセンターが貧困撲滅プロジェクトの一環として製造する手工芸品。YMCAパヤオセンターは児童保護施設。貧困のために教育が受けられない子どもや人身売買の対象になる可能性がある子どもを保護。子どもたちはセンターで教育の機会を得て、自立のための知識や技術を習得。

⑤ 8名の皆勤賞(1時間も休まず授業に出席した学生)と精

勤賞の表彰があった。

また、(神奈川県専修学校各種学校協会横浜支部主催、神奈川新聞社など後援)の外国人留学生による日本語スピーチコンテストの参加の学生が表彰された。

讃美歌 465番(讃美歌21)の後、黙祷をもって、会が閉じられた。

【日本語学科でチューターとしてお働きがあり、会場に駆けつけ卒業をお祝いした横浜クラブの方々から...】

(秋元美晴ワイズ)

「グビンさんは、中国の天津から息子さんと二人で5月に来日。チューター活動を始めた頃は、高校生の息子さんのことをとても心配されていた。一方、私は中国に帰った元ゼミ生の結婚式のお祝いの言葉や送金の額や方法など、いろいろ教えてもらいました。毎回、とても楽しいチューター活動でした。」

(古田和彦ワイズ)

「ダットさんは、ベトナムの方で、昨年5月に来日。先に奥さんが横浜国大大学院に留学生として来られ、横浜国大留学生寮に奥さんと共に住んでいる。ベトナムで大学卒業後建築関係の仕事をしておられたが、日本語を身に付けて日系企業で働きたいと思っているそうです。」

尚、本日の修了式は、『横浜クラブ3月例会』を兼ねた。

横浜クラブ会場参加者：青木、秋元、大高、古賀、古田

YouTube参加者：佐竹

第97回YMCA-Y's協議会報告

古田和彦

3月7日(火)19:00~20:00、第97回Y-Y's協議会がZoomによるオンライン会議で開催された。参加者は20名ほどと思われる。今回の担当は、横浜つるみクラブ。開会礼拝では島田徹担当主事が、聖書ローマの信徒への手紙7章14-25節を朗読、祈りをささげた。次いで、同クラブの久保勝昭会長が司会・進行した。

まず、佐竹横浜YMCA総主事から挨拶。コロナもかなり収まってきた。第100回のこの会は皆で集まってやれるようになることを願っている。YMCAは年度の区切りを迎えている。次いで、小松仲史部長から、ワイズの第1の使命はYMCAを支えることであり、そのためにこの協議会は重要な会である旨挨拶があった。

次いで協議に入った。議題は一つだけ、「国際・地域協力募金について」であった。国際担当職員の柳原絵里子さんから画面により説明。概要次の通り。今年の一般募金目標は800万円だが、2月末では475万円にとどまっている。ウクライナ支援募金は第1次分478万円で、ウクライナYMCAに送金した。2次・3次募金として600万円集まり、横浜にいるウクライナ避難者支援のために使っている。その用途は日本語学習者3名分、スイミングやアートクラスの子供たち6名分、リフレッシュキャンプ費用などである。今後とも協力していくこととした。

続いて報告。YMCAから、①2/11開催の横浜YMCA会員大会(ピースフォーラム)について。ブリテン3月号に記載済みの内容。②3/3開催のチャリティーゴルフについて。115名参加、89万円の収益。ワイズからは、①絵本贈呈プロジェ

クトについて。メネット献金の半額を使い、各 YMCA に絵本を送るが、事務的に遅れていてまだ届いていない。②各クラブ報告があった。当クラブからは4月例会でコロナの遅れている秋元美晴ワイズの入会式を行うことを、鎌倉ワイズからは日下部美幸ワイズの訃報について、その他のクラブからは例会予定など報告があった。③小松部長から、日下部美幸ワイズのご遺族から絵本200冊をワイズに贈呈するとの申し出を受けている。④部会計は千葉裕子ワイズ（鎌倉）が引き継いで行う。⑤辻エクステンション委員長から、つながりマスク活動の全体報告があり、寿地区に1/末マスクを送ったことでこの活動は終了した。⑥黒川勝次期部長から次期部役員として次の方々をお願いするとの報告があった。部長：黒川勝（金沢八景）、次期部長：久保勝昭（横浜つるみ）、直前部長：小松仲史（厚木）、書記：古田和彦（横浜）、会計：谷口尚頌（金沢八景）、地域奉仕・Yサ：若木一美（横浜とつか）、会員増強：佐藤節子（厚木）、国際・交流：大村悠（金沢八景）、ユース：板崎淑子（鎌倉）、メネット連絡員：佐藤節子（厚木）、監事：辻剛（横浜つづき）。

次回98回は2023年6月6日（火）19:00～20:30 会場は横浜中央 YMCA、担当は横浜ワイズメンズクラブで開催することとし、散会した。

横浜クラブの参加者：青木、佐竹、古田の各ワイズ

次期クラブ会長・部役員ワークショップ参加報告

古田和彦

3月4日（土）午後1時から翌5日（日）12時まで次期クラブ会長・部役員ワークショップが御殿場の東山荘で開催されました。私は、次期会長・次期部書記として3月5日朝食まで参加しました。この会も3年ぶりに集まって開催されることになり、顔と顔を突き合わせて話し合うことができ、皆喜んでいました。

内容は、次の通りでした。

3月4日

・開会式 ・研修1 ①東日本区の現況 ②アジア太平洋エリア・国際の現況 ③YMCA 理解・パートナーシップ ④東日本区次期理事方針 ・記念撮影 ・研修2 ワールドカフェ「あなたにとっての豊かなクラブライフとは？あなたはそのためにならうか？」

・夕食懇談会 ・部長を囲んで

3月5日

・朝食 ・日曜礼拝 ・研修3 各事業主任の目標・活動方針と意見交換 ・研修4 ①部事業主査の役割 ②事務手続きのポイント ③部書記・会計の役割 ④ヒストリアンからのお願い ⑤ワイズメネットについて ⑥質疑応答 ・閉会式
私が参加している中で大切だと思うところを報告します。

研修1①東日本区の現状について佐藤理事から説明がありました。まず、2023年1月1日現在の現勢は、59クラブ774名です。1クラブ当りの会員数は13.3人、平均年齢は66.3歳で、この平均を下回る（年齢はうえ）クラブが11あります。3つのクラブは解散を検討しているとのことでした。

②次の国際・アジア太平洋地域の現況では、100周年記念事業が行われていますが、その一つに、グリーンエネルギープロジェクトがあります。フィリピン・マカティ YMCA にソ

ーラーパネル設置のために11,000USドルを支援、すでに設置済みです。発電した電力を売り、アジア太平洋地域のグリーン活動基金に寄付をする計画で、すでに1,000ドル寄付が行われました。

今回のメインイベントは④東日本区次期理事の方針です。次期理事の山田公平さんから、理事主題、今期の強調点が説明されました。理事主題は、「未来のために今、学びと気づきを、未来のために、自信と喜びを感じる機会を」です。ユースアクション（ユースの育成への助力）をワイズの主要な活動にしたい。そして、強調点は、クラブライフの充実です。ワイズの魅力はクラブの在り方にかかっている。どんなテーマで例会をもつか、CS活動として何ができるか、近隣のクラブとの連携は可能か、YMCAとの連携はどうか、がポイントと話されました。自分らしく、自分のペースで「Well Being」、クラブライフの充実を感じられれば、自信をもって友人を誘い、おのずと会員は増える。長い目で取り組む必要があるので、理事も2年続けて務めるとのことでした。

研修2では、次期理事方針について話し合い、山田次期理事の方針に沿ってクラブ運営を行うことを確認しました。夜、「部長を囲んで」とのセッションがありましたが、部長不参加のため、北海道部、北東部、湘南・沖縄部合同の会となり、北海道や東北の方々とも懇親を深めました。

『近況—ニュータイプの若者』

佐竹 博



ダイヤモンドプリンセス号横浜港接岸から約3年間、「コロナ」と共に過ごしてきました。YMCAで、何かの判断をするときに「コロナ」のことを考えずに判断したことはほとんどなかったかのように思います。最初は、3か月くらいで新型インフルエンザのように終息か、と思っていましたが、繰り返す感染者数の増減の波によって、半年は、1年間は、という終息への期待の先延ばしも、まさか3年に及ぶとは思ってもみませんでした。2020年4月入学の中学生、高校生は在学3年間すべてにコロナの影響を受けました。多感な青春の時期に制約を受け、マスク越しのコミュニケーションをとってきた青少年たちは、進学や就職する先に、どのような影響が今後あるのだろうか、とても気になります。しかし、環境に適応した青少年たちは、独自のコミュニケーションセンスや、感覚といったものを体得しているのかもしれない。

アニメの話になりますが、1979年放映の「機動戦士ガンダム」には、「ニュータイプ」と呼ばれる若者たちが登場します。地球環境悪化により、地球から疎開し宇宙に建設した「スペースコロニー」で生活をする「宇宙移民」により、地球上の人口を減らし、環境回復を図る計画が進みました。50年以上経って、地球にいる人と、宇宙移民の間に軋轢が生じ戦争に至る話です。浮遊するデブリや太陽から放たれる放射線等、生命に対して起こり得る様々な危機要因をスペースコロニーの外壁一枚越しに感じながら生活を営んできた人々の、何世代か経た少年少女の中に、直感が冴え、誤解なく相手や物を理解する能力を持っている ちょっとしたエスパーの様な存在が現れるようになります。それは「人類の革新であり、地

球環境を回復させるために宇宙空間を生活の場として開拓した人々の新しい進化の形」としてニュータイプと呼ばれました。環境に適応しコミュニケーションをとる青少年の出現を40年前のアニメは予言していたと感じます。

そのニュータイプが登場する「機動戦士ガンダム」を生み出した一人、安彦良和さんに2月11日のYMCA会員大会ーピースフォーラムーに登壇いただきました。安彦さんは漫画家として、ロボットアニメだけでなく、歴史や神話をテーマにも数多く取り組まれています。会員大会でお話しされましたが、漫画化するときには、「主人公を実在の生きた人間として、描く」ことにこだわっているそうです。「神武」「ヤマトタケル」などに加え、「イエス JESUS」も描いています。どうイエス・キリストが実在したと書いているのか、興味があり、購入して読みました。注解書のように聖書関連記載箇所が書かれていたり、エピソードの解説があったりと、安彦さんの事前学習や調査に驚くとともに、そのような構成のため、フィクションと教会で聞く話との境目が分からなくなる不思議な経験をしました。ネタバレになるので、多くは語れませんが、イエスの身近にいる創作された人物をストーリーテラーとして進む上下2巻の最後に、「おーそう来たか!」と驚きました。

第二例会報告

伊藤 誠彦

日時 ; 3月30日(木) 17:30~18:15 (Zoom)

出席者 ; 青木、伊藤、大高、古賀、古田

出席者の都合に合わせて変則日程で開催。

1. 行事予定の確認

資料に基づき4月、5月の行事予定の確認

2. 協議・報告事項

(1) 横浜クラブ4月例会

4月13日、鈴木茂ワイズ(横浜つづき)による卓話「ワイズと横浜YMCA」(仮題)を予定。コロナ禍で延び延びになっていた秋元ワイズと3月末で横浜YMCAを退職される青木ワイズの後任の立花明美さんの入会式を行う。

(2) 横浜クラブ5月例会

川崎YMCAでの経験をもとに立花さんに日本語学科の紹介をお願いする。同時に、チューター経験者として古田さん、秋元さんにも一言お願いする。大高さんよりチューターの経験談であれば、ワイズ入会の候補者にもなり得るので、外部の人をお願いしてはどうか、という意見が出た。

(3) 横浜クラブ6月例会

例年通り、7月総会の準備にあてる。



担当主事 青木 英幸

2023年3月22日に横浜YMCA学院専門学校、横浜YMCAスポーツ専門学校、YMCA健康福祉専門学校、YMCA国際ビジネス専門学校の4校合同卒業式を開催しました。卒業生の中には医療現場や高齢者施設で働く者も多く、当日は全員マスクを着用し式の進行を行い、149名の卒業生を送り出すことが出来ました。この中には海外の様々な国と地域か

ら日本に来て卒業する82名の留学生がいました。2018年度に実施して以来4年ぶりに合同卒業式を、神奈川県立音楽堂にて開催することが出来たことを感謝申し上げます。



私事となりますがこの度、3月末に退職いたします。1991年4月に横浜YMCAに入職し、多くの時間を専門学校事業に携わらせていただきました。横浜ワイズメンズクラブの担当主事としての働きは2年間だけとなってしまい短い期間ではありましたが、クラブの皆さまには大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

(青木さん、大変お世話になり有難うございました。

「オブリガード!」)

4月例会プログラム

日時 : 4月13日(木) 18:30~20:30

場所 : 中央YMCA

司会 : 大高ワイズ

1. 開会点鐘および挨拶
2. ワイズソング・ワイズの信条
3. 今月の聖句
4. ゲスト・ビジター紹介
5. 入会式 秋元美晴、立花明美
立会人 小松部長、佐藤EMC事業主查
6. 卓話「YMCAとワイズに見る使命と意義」
横浜YMCA常議員会議長、横浜つづき 鈴木茂氏
7. ビジネス・報告
8. 閉会点鐘

例会報告 : 古賀ワイズ

5月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
11	木	18:30	横浜クラブ第一例会	中央Y
25	木	17:00	横浜クラブ第二例会	Zoom
27	土	14:00	横浜YMCA会員総会	聖光学院

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA立花明美にご連絡下さい。

メール tachibana_akemi@yokohamaymca.org

電話 045-661-0080